

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、人と人の距離の確保・手洗い・咳エチケットを徹底してください

明けましておめでとうございます



子ども家庭支援センターの「親子ふれあい広場」でくつろぐ、お子さんとその保護者の皆さんです。子ども家庭支援センターは、令和3年4月に港区子ども家庭総合支援センター（住所：南青山5-7-11）が開設した際、港区子ども家庭総合支援センター内に移転します。移転後も「親子ふれあい広場」は引き続きご利用いただけます。

令和3年(2021年)の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつ申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、区民生活や地域経済において深刻な影響が生じました。

区は、PCR検査の充実や医療機関との連携など区民の命を守る取組、中小企業を対象とした区独自の特別融資あっせんなど区内産業を支える取組を進めるとともに、プレミアム付き区内共通商品券の発行などにより、地域経済の回復をめざしてまいりました。

感染予防と社会活動の両立を図る新しい日常が浸透し、働き方や人とのつながりなど、価値観が大きく変化しております。新しい日常の中で、区民生活と地域経済を支えるため、全力で取り組んでまいります。

行政サービスについては、オンライン化を進め、区民が来庁することなく質の高い

サービスを受けられる区役所を実現してまいります。

4月には、令和3年度から6カ年を期間とした基本計画がスタートします。港区の将来像を見据え、令和の時代を切り拓く新たなロードマップとなる計画を策定し、掲げる目標の着実な達成をめざしてまいります。

また、区の児童相談所も備えた港区子ども家庭総合支援センターを開設します。出産から子育てまで切れ目のない支援により、子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境を整えてまいります。

7月から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大会の気運醸成やレガシーの創出に取り組むとともに、大会を安全・安心な環境で迎えるために万全な準備を進めてまいります。

港区の未来は、この危機を乗り越えた先にあります。地域の力を結集し、これまで以上に区民一人ひとりが大切にされ、多様性

を認め合い、だれもが安全に安心して、自分らしく心豊かに暮らすことのできるまちを創ってまいります。

新しい年が皆様にとって幸多き一年となるよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



港区長

武井 雅昭

区の手続きや施設・催し物のご案内は **みなとコール** ☎5472-3710 FAX5777-8752 年中無休 午前8時～午後8時

◆「広報みなと」は新聞(朝日・読売・毎日・日本経済・産経・東京)折り込みです。区の施設や、郵便局(赤坂・一ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、区内のJR・地下鉄・ゆりかもめの駅、新聞販売店等に置いてある他、希望する区民の皆さんに配達しています。また、「点字広報」、「声の広報」も発行していますので、ご利用ください。

「広報みなと」は、港区ホームページ(<https://www.city.minato.tokyo.jp>)でもご覧いただけます。

誰もが住みやすく 地域に愛着と誇りを 持てるまち・港区をめざして

配慮や声掛けのポイント

見た目では障害があることが分かりにくく、周りの配慮や手助けが受けられない人や障害の特性により日常生活の中で困っている人がいます。困っている人に手助けの申し出をするとき、どのように声を掛けたいのか迷ったことはありませんか。今回は、配慮や声掛けのポイントを紹介します。

2月下旬に区有施設で無料配布予定の「障害のある人とのコミュニケーションハンドブック」にも詳しく紹介していますので、ご覧ください。

基本的な配慮のポイント

一口に障害といっても、症状や反応は多岐にわたります。基本の対応は、「ゆっくり」、「丁寧に」、「繰り返し」です。これは子どもや高齢者、外国人等に声を掛けるときに共通するポイントです。

話し掛けるとき

- 笑顔でゆっくり、優しい口調で「何かお手伝いすることはありますか。」と声を掛けます。
- 声を掛けたら、相手の様子を見ます。

話を聞くととき

- 安心して話ができるような雰囲気等をつくり、相手の様子に合わせ、話を最後までよく聞きます。
- 返答に困っていたら、コミュニケーションボード等の補助手段を使ってみましょう。

話すときや説明をするとき

- ゆっくり、分かりやすい言葉を使い、できるだけ1つの文章を短くして話します。
- 言葉以外にも、絵や図を用いて説明します。
- 大事なことはメモを書いて渡します。

視覚に障害のある人

ポイント1

障害の程度によって、音声や点字等の聴覚や触覚によって情報を得る他、拡大文字や専用機器等の視覚から情報を得ている人もいます。その人に合った方法でコミュニケーションを取ります。

ポイント2

どのように声を掛けるか迷ったときは、次のように声を掛けます。

相手の正面に立ち、「お手伝いすることはありますか。私は〇〇と申します。」

ポイント3

「3歩前に段差があります。」等の具体的な言葉や「4時の方向にお茶があります。」といったクロックポジション(どこに何があるのかを、時計の短針に例えて知らせる手段)を使うようにします。



聴覚に障害のある人

ポイント1

全く聞こえない人、聞こえづらい人等聞こえ方は、一人一人違います。外見からは分かりにくいいため、声を掛けただのに返事がなく、無視をされたと誤解する場合があります。

ポイント2

どのように声を掛けるか迷ったときは、次のように声を掛けます。

相手と目を合わせ、「こんにちは」等と、あいさつをします。その後、どのような方法でコミュニケーションを取るか確認します。

ポイント3

常に顔や口元が見えるようにして、少しゆっくり話します。



肢体不自由な人

ポイント1

車いすを使用している人には、少しかがんで同じ目線で話します。

ポイント2

次のような場面で困っている人がいた場合は、声を掛けてからお手伝いをお願いします。

- 切符売り場
「切符を買いましょうか。」
- 上にある物や下にある物を取ろうとしているとき
「上(下)にある物を取りましょうか。」
- 横断歩道や段差がある場所
「車いすを押しましょうか。」

ポイント3

発声が苦手だったり、失語症等によって、コミュニケーションをとることが苦手な人もいます。また、体の内部に障害があり、外見からは分かりにくい人もいます。



ヘルプカードやヘルプマークをご存じですか

サイズ：縦5.5センチメートル
横8.5センチメートル



「ヘルプカード」は障害のある人が災害や日常生活の中で困ったとき、必要な支援内容や緊急連絡先等を記入し、周囲の人からの配慮や手助けを得やすくするためのカードです。

「ヘルプマーク」は支援や配慮の必要な人が身に付けています。困っている人を見かけたら思いやりのある行動をとってください。



発達障害のある人

ポイント1

不安の強い人、周囲の視線や音に敏感な人がいるため、笑顔で対応し、静かな個室に案内する等周りの環境に配慮をします。

ポイント2

外見からは分かりにくく、指示通りの行動ができないため、周囲の人にわがままと誤解されることがあります。

ポイント3

パニックになって、大声を出している場合は、安心させるために優しく「大丈夫ですよ。」と声を掛けます。

道路や駅のホーム等危険な場所でパニックになっている場合は、危険な理由を説明し、安全な場所に移動するよう誘導します。



知的障害のある人

ポイント1

話の内容を理解できなかったり、自分の考えや気持ちを表現できず、コミュニケーションを上手に取れないことがあります。

また、臨機応変に対応することが苦手な人もいて、パニックになり、大声を出す場合もあります。

ポイント2

「どうしましたか。」と声を掛けるよりも「東京タワーに行きたいのですか。」等、何をしたいのかを具体的に聞きます。

ポイント3

何度も同じ質問をすることがあるため、繰り返し丁寧に答えます。また、実物、絵や図を使いながら、ゆっくり、優しい口調で話します。



マスクを着けられない人がいます

新型コロナウイルス感染症の影響によって、マスクの着用が新しい生活様式として定着する中、障害や皮膚の病気、感覚過敏等の理由でマスクを着けられない人がいます。

マスクを着けていない人を見たら、まずは「何か事情があるのかもしれない」と想像してみてください。私たちの周りには障害のある人がいるということを知り、その特性や事情を理解し、お互いに思いやりの心を持って過ごしましょう。



©2020わけがありますく

問い合わせ

障害者福祉課障害者福祉係 ☎3578-2386 FAX3578-2678



季節性インフルエンザ流行期における 外来受診等の相談先を紹介します

新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中、インフルエンザが流行する季節になりました。

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある人の相談先は次のとおりです。

発熱や咳、息苦しさ(呼吸困難)強いだるさ(倦怠感)等の症状がある人
原則「かかりつけ医」に相談

「かかりつけ医」または地域の身近な医療機関に相談し、診療や検査を受診するか、「診療・検査医療機関」の紹介を受けます。地域の身近な医療機関については、東京都医療機関案内サービス「ひまわり」等で検索することができます。

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」のホームページ

<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/>

「かかりつけ医」がない等、相談する医療機関に迷う場合

「東京都発熱相談センター」に相談し、「診療・検査医療機関」の紹介を受けます。

とき 24時間対応しています。

※5320-4592

新型コロナウイルス感染症に関する一般的な電話相談

みなと保健所電話相談窓口

対象 区内在住・在勤・在学者

とき 月～金曜(1月1～2日を除く)

午前8時30分～午後5時15分(1月3日(日)は午前10時～午後4時)

※3455-4461

聴覚障害がある人等の相談窓口

FAX3455-4460

東京都電話相談窓口(新型コロナコールセンター)

とき 月～日曜午前9時～午後10時(祝日を含む)

対応内容 感染の予防に関することや、新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談

※0570-550571(ナビダイヤル)多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)対応

聴覚障害がある人等の相談窓口

FAX5388-1396

厚生労働省電話相談窓口

とき 午前9時～午後9時

※土・日曜、祝日も対応しています。

※0120-565653(フリーダイヤル)

**港区新型コロナ
こころのサポートダイヤル**

※5333-3808

新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中、ストレスや不眠等の心の不調について相談できる電話相談窓口です。

対象 区内在住・在勤・在学者

とき 月～金曜(祝日・1月1～3日を除く)午前9時～午後5時

開設期間 令和3年3月末まで

問い合わせ

保健予防課保健予防係

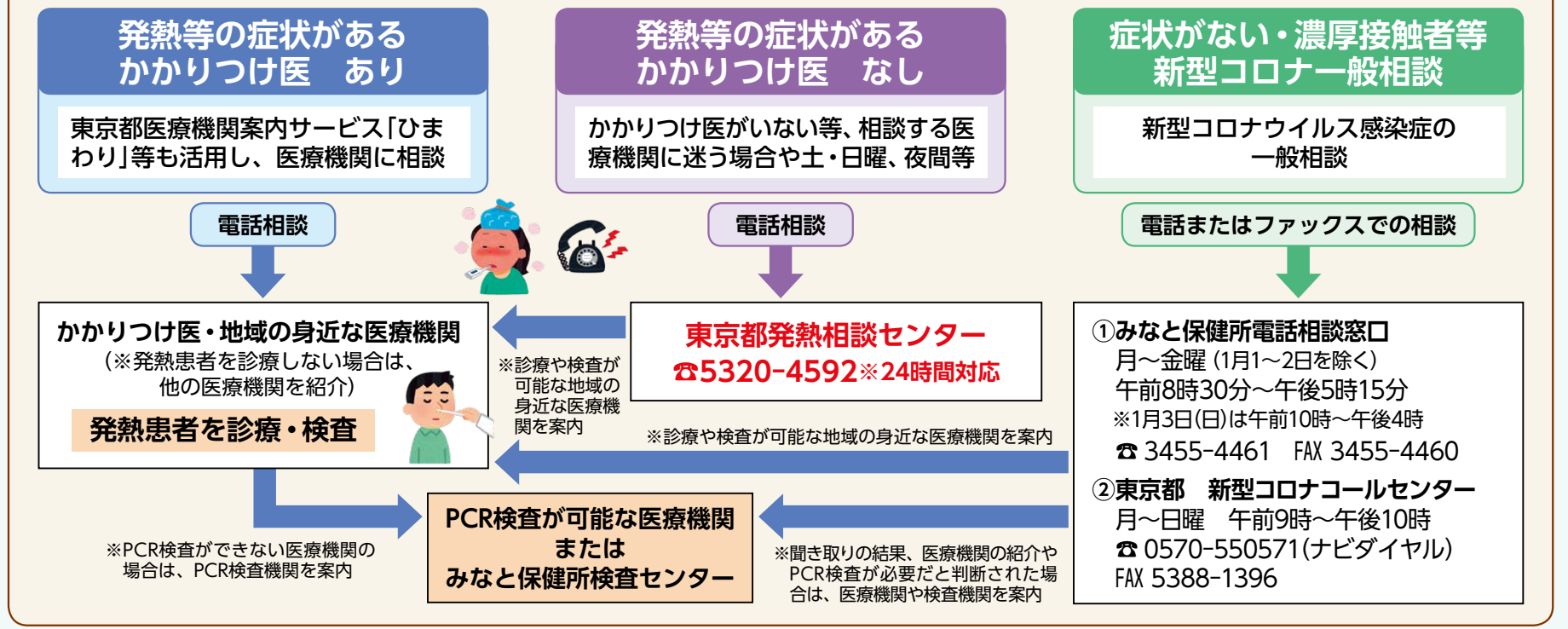
※6400-0081 FAX3455-4460

○港区新型コロナ こころのサポートダイヤルについて

健康推進課地域保健係

※6400-0084 FAX3455-4460

インフルエンザ流行期の相談の流れ



夜間・休日診療

港区ホームページからもご覧いただけます▶
診療時間 □ は午前9時～午後5時
診療時間 ★ は午後5時～午後10時



小児 初期 救急	みなと 子ども 救急診療室	月～金曜:午後7時～10時 土曜:午後5時～10時 ※祝日・年末年始を除く ※受付は午後9時30分まで	中学生まで (おおむね15歳 未満の小児)の 軽症患者対象	芝浦1-16-10 (社福)恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院1階 ※6453-7302
----------------	---------------------	--	--	--

※受診するときは、あらかじめ電話で診療時間等をお問い合わせください。

1月1日(金・祝)	南赤坂クリニック(内)	赤坂1-11-36 レジデンスバイカウテス420	5561-9258
	東京都済生会中央病院(内・外)	三田1-4-17	3451-8211
	赤坂見附前田病院(内・外)	元赤坂1-1-5	3408-1136
	赤坂見附磯谷歯科室(歯)	赤坂3-21-17 ASK赤坂5階	3582-4011
	★南青山内科クリニック(内)	南青山7-8-8 南青山ロイヤルハイツ101	6805-1836
1月2日(土・年始)	新橋青木クリニック(内)	新橋3-23-4 青木ビル	3432-0381
	虎ノ門病院(内)	虎ノ門2-2-2	3588-1111
	国際医療福祉大学三田病院(内・外)	三田1-4-3	3451-8121
	たなかデンタルオフィス(歯)	芝5-13-16 三田文銭堂ビル1階	5476-5770
	漆崎歯科(歯)	赤坂5-4-13 ホワイト赤坂4階	6459-1590
	★鈴木医院(内)	白金台4-12-11	3441-6668
1月3日(日)	おかだスマイルクリニック(内・外)	浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー4階	6809-1725
	古川橋病院(内)	南麻布2-10-21	3453-5011
	愛育病院(小)	芝浦1-16-10	6453-7300
	聖美歯科(歯)	赤坂3-14-9 赤坂清水ビル3階	3583-2655
	★松崎内科クリニック(内)	新橋1-15-5 ペルサ115 9階	3591-7006
1月10日(日)	もとやまクリニック(内)	白金1-8-9	3473-2866
	サニーガーデンこどもクリニック(小)	麻布十番2-18-8 ABAアサミビル6階	6722-6623
	北里研究所病院(内・外)	白金5-9-1	3444-6171
	芝大門歯科クリニック(歯)	芝大門2-1-17 朝川ビル1階	3578-8880
	古畑歯科医院(歯)	赤坂6-15-1 ミツワビル2階	3587-1823
	★岡部医院(内)	西麻布2-24-12	3407-0076
	港区休日歯科応急診療所 (港区口腔保健センター)	三田1-4-10 みなと保健所2階 (休日のみ)	3455-4927

電話がかかりにくい場合は、下記の診療案内へ

診療 案内	東京消防庁救急相談センター (毎日24時間)	「#7119」(プッシュ回線の固定電話、携帯電話) ※3212-2323(ダイヤル回線の固定電話等)
	東京都医療機関案内サービス 「ひまわり」(毎日24時間)	※5272-0303 ホームページ https://www.himawari.metro.tokyo.jp/
電話 相談	小児救急 電話相談	月～金曜 (祝日、年末年始を除く) 午後6時～翌朝8時 土・日曜、祝日、年末年始 午前8時～翌朝8時
		「#8000」(プッシュ回線の固定電話、携帯電話) ※5285-8898(ダイヤル回線の固定電話等)

薬の相談 ※日中、夜間とも区内在住者に限ります。

港区休日くすり何でもテレホン 対応時間:午前9時～午後2時

※薬局の電話がかかりにくい場合は、※090-9378-7915

1月1日 (金・祝)	シミズファーマシー 西麻布4-18-16 ※3407-0794
1月2日 (土・年始)	霞町薬局 西麻布3-1-19 ※5411-9311
1月3日 (日)	グリーン薬局 六本木7-15-14 塩業ビル地下1階 ※3497-0848
1月10日 (日)	子安薬局 六本木7-14-7 ※3401-8667

夜間対応当番薬局(毎日)

対応時間:午後8時～午前0時 ※090-3690-3102

障害者歯科診療所(港区口腔保健センター)	
三田1-4-10みなと保健所2階	
1月9日(土)午前9時30分～午後0時30分	
1月23日(土)午後1時30分～4時30分	
【完全予約制】平日午前9時～午後5時受付 ※6400-0084 FAX3455-4460 健康推進課地域保健係	

港区の人口

令和2年12月1日現在

総人口

25万9,540人
(前月比47人増)

出生等	271人	死亡等	304人
転入	2,093人	転出	2,013人

日本人 24万618人 (前月比153人減)

男 11万2,479人 女 12万8,139人

外国人 1万8,922人 (前月比200人増)

男 9,868人 女 9,054人

世帯数 14万6,875世帯 (前月比108世帯減)

日本人世帯数 13万3,464世帯 (前月比204世帯減)

外国人世帯数 1万118世帯 (前月比89世帯増)

複数国籍世帯数 3,293世帯 (前月比7世帯増)